

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第47号 平成19年11月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 幼稚園から大学生まで！！環境学習の発表&意見交換

- ・アースレンジャーこども会議&がやがや会議（10月27日）
- ・学生環境会議 大人はいらない！頼らない！

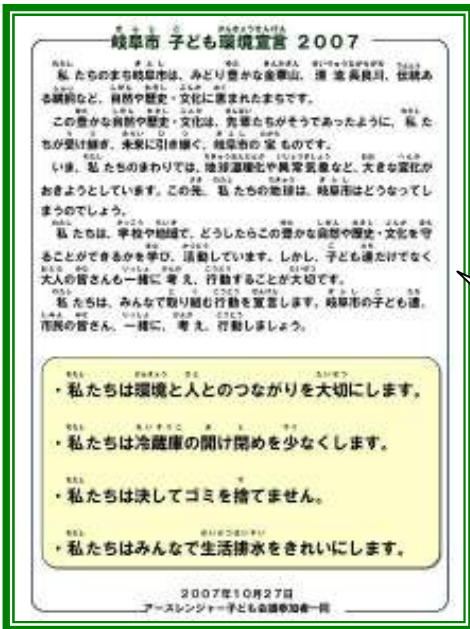
## ○アースレンジャーこども会議&がやがや会議

10月27日（土）に長良川国際会議場で「岐阜市まるごと環境フェア 2007」が開催されました。午前中は、今年で3回目となるアースレンジャーこども会議（環境学習を通じた成果発表）です。今回の発表には、**幼稚園児や小学校1年生の発表もあり、本当に幅広い年齢層が参加**しました。幼稚園児は達目洞での体験をみんなで表現し、小学1年生は自分たちで調べた鳥羽川の生物について発表しました。また、お兄さん、お姉さんたちの発表では「長良川の鵜飼や河川敷のゴミ問題」「野菜の栽培を通じた資源について」「新境川の水質や生息生物」「地域の森の里山整備活動と薪の活用」など、現場での研究や実践に基づいた意見が出されました。お互いの発表を聞いている児童・生徒の皆さんからは、それぞれの体験を通じた発表に感心していました。



たくさんの子ども達がそれぞれの体験に基づいて環境に関する発表を行いました。





参加した児童・生徒が一堂に介して、岐阜市の環境のことについて話し合いました。そこでの話を元に、グループで意見をまとめて、左の「岐阜市子ども環境宣言2007」を發表しました。

發表が終わった後には、参加者同士フランクに意見交換しました。

岐阜市の環境を守るためには自分たちでどのようなことをしていく必要があるのか話し合い、その話し合いを元に「岐阜市子ども環境宣言2007」をまとめました。ここに書かれていることは、子どもも大人も一人一人が気をつければできる大切な

行動や思いが詰まっています。大人も子どももみんなで実践しましょう！！

## ○学生環境会議

### 大人はいらない！頼らない！

また、午後からは大学生・高校生自らが企画した「学生環境会議」が行われました。キャッチフレーズは「**大人はいらない！頼らない！**」です。

この意味がわかりますか？ 学生から見れば、今の**自然環境の荒廃や地球温暖化問題も私たち大人の経済活動によって顕在化したものです。その負の遺産は次の世代である若者の将来を脅かしています。**このような現実を見つめた学生たちが考えたキャッチフレーズです。これに対し私たち大人はどう答えるのでしょうか。

次代の担う学生たちからは「**自分たちの生きていく世の中をどうするかは自分たちで考え、行動しなければならない**」「**もっと多くの仲間を創っていく必要がある**」といった活気あふれる意見が出されていました。このような若者の志を支えることが、今の大人や社会に求められているのではないのでしょうか！

## ○おわりに

現在、私たちは地球温暖化など多くの課題に直面しています。その原因は現在の経済活動・生活スタイルにあります。私たち大人は、若者や未来の子どもたちの将来を脅かす権利など持っていません。今こそ、真剣に私たちの暮らしのあり方を問い直す必要があると思います。

高校生・大学生が、自分たちがこれから生きていく環境について意見交換をし、今後どのように社会と接していくべきか考えました。



近い将来、ここにいる若者達が岐阜の環境を守り伝えていくリーダーになることを期待します。

## 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html